

大学等の研究用データの提供・貸与のお知らせ

財団法人日本デジタル道路地図協会
理事長 浅井 新一郎

財団法人日本デジタル道路地図協会（通称DRM）では、一定の要件を満たす大学等の研究用データについて無償で提供・貸与しております。ご希望の方は下記までお申越してください。

<DRM-DBの内容>

- ・国土地理院の地形図をベースに国、都道府県等の道路管理者による最新道路情報により、毎年度更新整備を実施しています。道路結節点(ノード)とノードとノードで定義されるリンクで構成されている全国均質なネットワークデータです。

<提供要領概要>

- (1)利用地域 ・1市町村を原則とします。
- (2)利用期間 ・最大1年とします。なお、延長を認めますが、合計期間は最大3年までとします。
- (3)利用料金 ・利用料金は無償。
- (4)利用目的 ・利用目的は、大学等の研究開発用とします。
なお、研究開発の成果については、当協会に報告書の提出をお願いします。
- (5)利用形態 ・利用の申込者の単独利用とし、第3者との共同利用は不可とします。
- (6)その他 ・この特例的利用の対象は、大学等とし、データの管理が可能であることが条件です。

<手続き>

- ・当協会所定の「研究用データ貸与申込書」の提出をお願いします。
- ・なお、研究用データ貸与のお申込みをされるに際し、DRMデータの内容の確認を希望される場合はサンプルデータの提供も致しております。

*詳細につきましては下記にお問合せ下さい。

〔財団法人日本デジタル道路地図協会 〒107-8555 <http://www.drm.jp>〕

住所：東京都千代田区平河町1-3-13 菱進平河町ビル5F
電話：03-3222-7990

平成18年度研究助成募集のお知らせ

財団法人日本デジタル道路地図協会
理事長 浅井 新一郎

財団法人日本デジタル道路地図協会(DRM)は設立から18年が経過し、この間、世界に先駆け制定した公開標準に基づいて、官民共通の社会基盤ともいえるべき全国デジタル道路地図データベースの整備・更新・提供等を行うと共に、近年では21世紀型と言える、現実世界を忠実・正確・高精度に記述できる標準フォーマットとなるDRM21の開発にも取り組んでまいりました。

近年、欧米においては、主として交通事故低減の観点から、インフラ基盤として高精度な次世代デジタル道路地図への取り組みが急ピッチで進められており、我が国においてもITS(高度道路交通システム)のセカンドステージを迎え、デジタル道路地図の高度化及び利活用についての推進が求められています。

こうした中で、当協会としても自らデジタル道路地図の収集、加工、提供、利活用等に関する調査、研究を一層進めるのはもちろんのこと、本年度より大学等研究機関への助成制度の設立を行い、この分野の調査、研究の進展に対し、支援を図ってまいりたいと考えております。

本年度は、下記の研究課題に沿った研究に対し、助成を行う事とし、研究助成の申請募集をいたします。

1. 応募資格

国内の国公立大学、高等専門学校及び国公立研究機関

2. 研究課題

- ①デジタル道路地図関連の資料収集方法等に関する研究
- ②デジタル道路地図の作成及びシステム等に関する研究
- ③デジタル道路地図の精度及び鮮度向上に関する研究
- ④デジタル道路地図及びシステムの高度化に関する研究
- ⑤デジタル道路地図の利活用に関する研究
- ⑥その他、デジタル道路地図に関する研究

3. 研究期間

平成19年3月末まで

4. 助成金額と件数

研究計画の遂行と研究成果の取りまとめに必要な経費に対し、助成いたします。

1テーマにつき数10万円から100万円までを目途とし、助成件数は3～5件程度といたします。

5. 特典

必要に応じ、研究に使用するDRMデータベース等を貸与いたします。

6. 応募方法

研究助成申請書に必要事項を記入し、郵送にて下記宛にお送りください。

複数の研究者が関与する場合は、責任者を定め、責任者名で応募申請してください。

申請に際し、研究者の所属機関の内規による諸手続きや研究実施に必要な承認手続きが必要な場合は、申請者の責任において行ってください。

ファックス、電子メールでの受け付けは行いません。なお、提出いただいた申請書類は返却しません。

7. 応募書類送付先

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-13(菱進平河町ビル5階)

財団法人日本デジタル道路地図協会

DRM研究助成事務局

8. 応募締め切り

平成18年8月31日(必着)

申請書類を受理しましたら事務局より申請者へ文書あるいは電子メールにて受理通知をお送りいたします。

申請書類を送付したにもかかわらず9月10日を過ぎても受理通知がない場合は、電子メールにて当協会研究助成事務局(以下研究助成事務局)のアドレスへお問い合わせください。

9. 選考方法

当協会内に設置する審査委員会による審査を行い決定することとし、審査は社会への貢献、学術的意義、研究内容の計画性・具体性等に重点をおいて行います。

10. 選考結果

選考結果は、研究助成事務局より、選考決定された申請の申請者へ文書にて通知します。

なお、採否の理由についてのお問い合わせには応じかねます。

11. 研究助成費の支払い

申請者の所属機関が認める方法でお支払いいたします。

12. 研究計画の遂行と報告書の提出

採択された研究の申請者は、提出した研究計画に則って研究を遂行してください。

所定の書式に基づき、中間報告書と研究報告書を研究助成事務局に提出してください。

(ただし、本年度に限り中間報告書は不要ですが、簡単な状況確認はさせていただきます。)

13. スケジュール

応募締め切り： H18年8月31日(必着)

選考： H18年9月

選考結果通知： H18年9月下旬

最終報告書提出： H19年3月

14. その他

申請者並びに申請内容についての秘密は厳守し、個人情報を利用目的野範囲内で取り扱うこととし、個人情報の保護に努めます。ただし、審査委員会には審査のためにのみ開示されますことをご承知ください。

また、審査の結果、採択された場合は、申請者、研究機関名、研究題目は公表されることをご承知ください。

研究報告書は、審査委員及び当協会賛助会員に開示されることをご承知ください。

研究によって得られた新しい知見は研究者に所属しますが、研究成果の公表にあたっては、当協会への事前報告を必要とさせていただきます。

* 本件に関する電子メールでのお問い合わせは下記までお願いいたします。

研究助成事務局 oda@drm.or.jp

電話:03-3222-7990

担当:小田

<FAQ> Q1 多年度に渡る研究はできるのでしょうか?

A1 原則的に年度内の研究とさせていただきます。多年度に渡る研究は、別途双方の協議のうえ決定とさせていただきます。ただし、助成金は1テーマ1回限りいたします。

Q2 複数の支援団体から助成金などの資金を調達しています。その場合はどうなりますか?

A2 研究の内容によって切り分けが難しい場合もありますので、その場合は、申請時にその旨を明確にしてください。

Q3 応募件数は1件に限定していますか?

A3 研究課題に沿っていれば、複数の応募も可能です。